



行政報告

市議会3月定例会が3日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。

大館市・田代町合併協議会

先月17日の臨時議会で設置を可決いただいた「大館市・田代町合併協議会」は、同日午後、市議会議長並びに田代町議会議長の立ち会いのもと、田代町長と協議会設置協議書の署名式を行いました。また、2日には、第1回法定協議会を開催し、「新市建設計画の作成方針案」や「合併協定項目の調整方

針案」などについて協議しました。今後、引き続き平成17年3月の合併に向けての本格的な協議を重ね、予定通り実施できるよう努力したいと考えています。これからも、合併への取り組み状況を、市民の皆さんに逐次情報発信しながら、魅力ある力強い新市を目指します。

廃プラスチック利用新建材製造事業

秋田県北部エコタウン計画の中心の一つである「廃プラスチック利用新建材製造事業」を担うため、秋田ウッド株式会社松原地内に建設を進めておりました新工場は、昨年12月に完成し、同月20日から操業を開始しました。この新工場

は、土地を除く投下固定資本が14億2,000万円、操業開始時の従業員数が9人であるため、市では、同日付けで大館市工場等設置促進条例に基づく指定工場として指定しました。今月から本格稼働していますが、

木材・木製品製造業などからの廃木材と、誘致企業や家電リサイクル工場などからの廃プラスチックを有効利用する本事業は、循環型社会の形成に寄与するとともに、将来的には従業員も25人程度まで

県北地区中高一貫教育校とその周辺整備事業の進展状況

現在、県により工事が進められている校地の造成は、今月末までに完了し、4月からはいよいよ校舎の建設が進められる予定です。また、校名には938通の応募による755件の提案があり、今後、県教育委員会に諮ったうえで、最終的には6月の県議会で決定すると伺っています。

増員の予定であることから、地域経済の活性化に向けても大いに期待できるものです。今後、市の産業基盤を活用しつつ、地域の企業連携による新たな循環型産業の立地に努めます。

次に、市で行っている周辺整備事業は、板子石地内からの取付道路が、昨年10月に粗造成工事を終え工事用車両の利用に供しています。

また、南北自由通路は、委託している設計とJR大館駅前の支障移転工事が、今月中に完了する予定です。北口広場は、支障移転工事が4月以降に延びることから、本議会に繰越明許費の設定をお願いしています。16年度は、通学路となる周辺道路の造成や舗装、北口広場の用地取得と造成、南北自由通路の新設などを計画しています。

林業施設整備事業



協同組合秋田県北木材センター

が、国と県及び10の関係市町村の協力を得て、総事業費11億4,000万円を導入した集成材加工施設は、工事がほぼ完了し、現在、4月からの本格稼働に向け、試運転を行っています。外国産材に対抗できる木材の供給体制を築き、低迷する国産材の需要を拡大できる施設として、大いに期待しています。